

◆令和3年1月～9月事故の状況◆

【事故の特徴】

☆事故件数は「50件」発生しており、過去5年平均に比べ1件程度少ない状況。

☆労働災害が「32件」発生しており、過去5年平均に比べ5件増加。

☆休業4日以上労働災害が「12件」発生し、発生率が38%となっており、高く推移。

◇ 気温低下や気候の急変などに注意し、事故対策の徹底をお願いします。

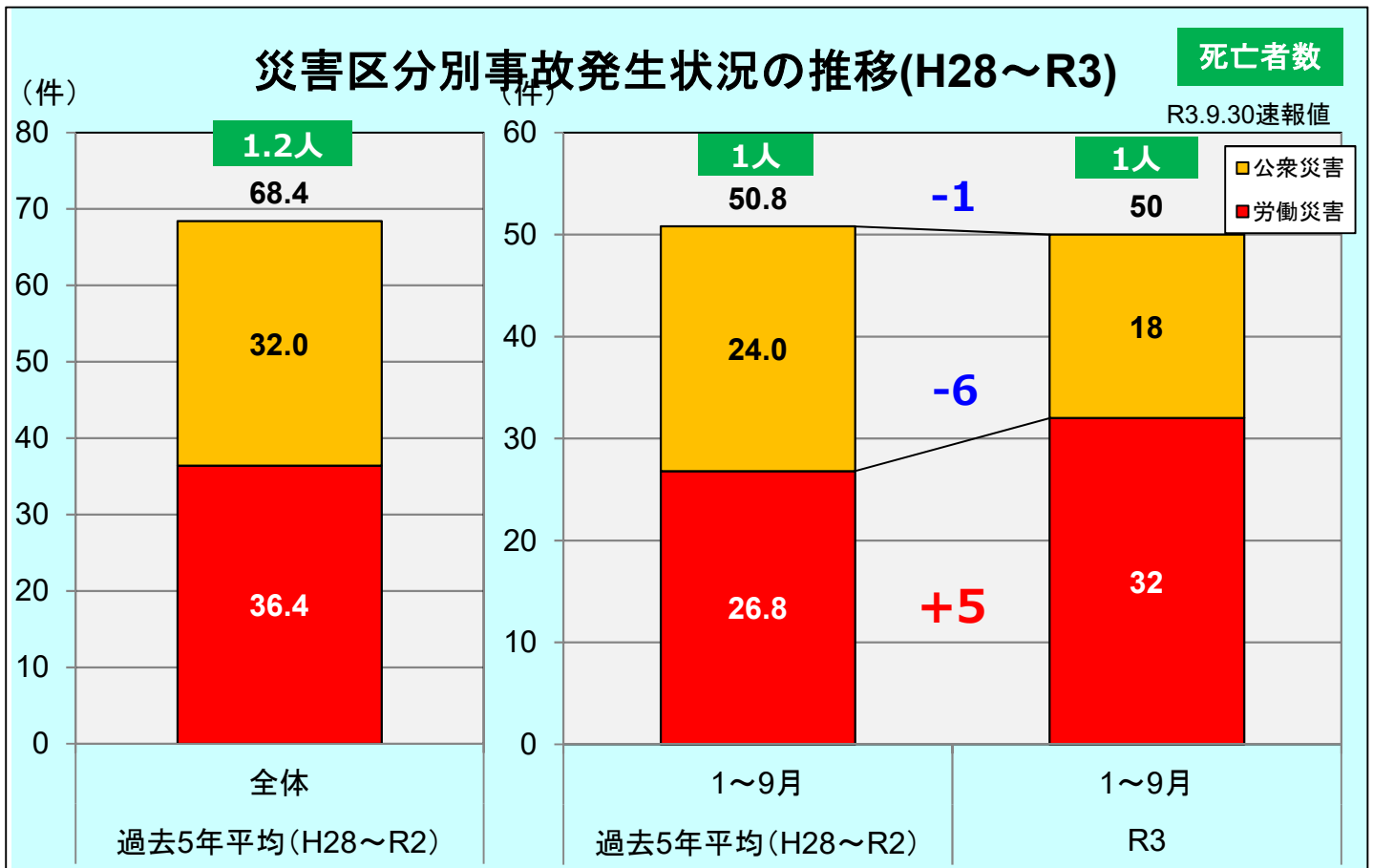
◇ 引き続き、新型コロナウイルス対策の徹底をお願いします。

1. 工事事故の発生状況

※使用している数値は速報値であるため、今後変更となる可能性があります。
※北陸地方整備局発注の直轄工事を対象としています。

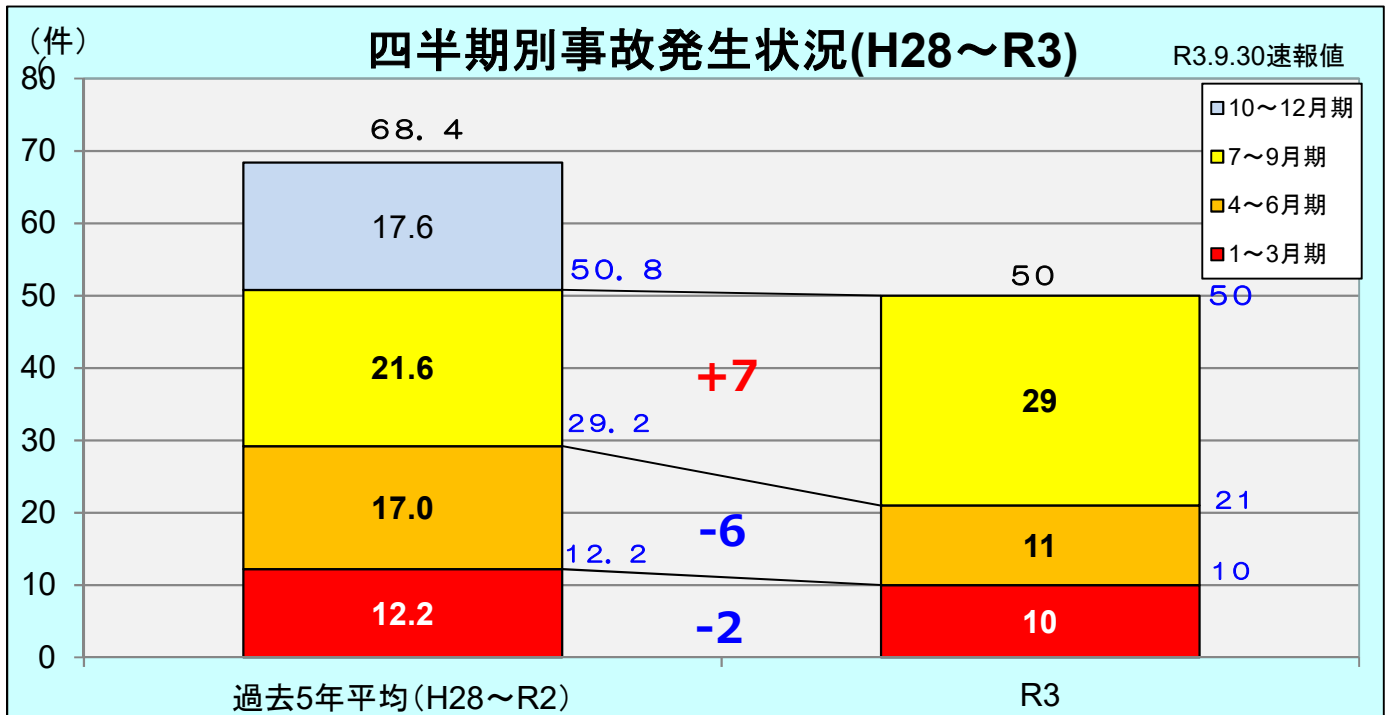
1) 過去5年平均との比較

1月～9月までの事故件数は50件で過去5年平均と比較すると1件程度少ない状況ですが、労働災害は32件発生しており、過去5年平均と比較して5件程度増加しています。



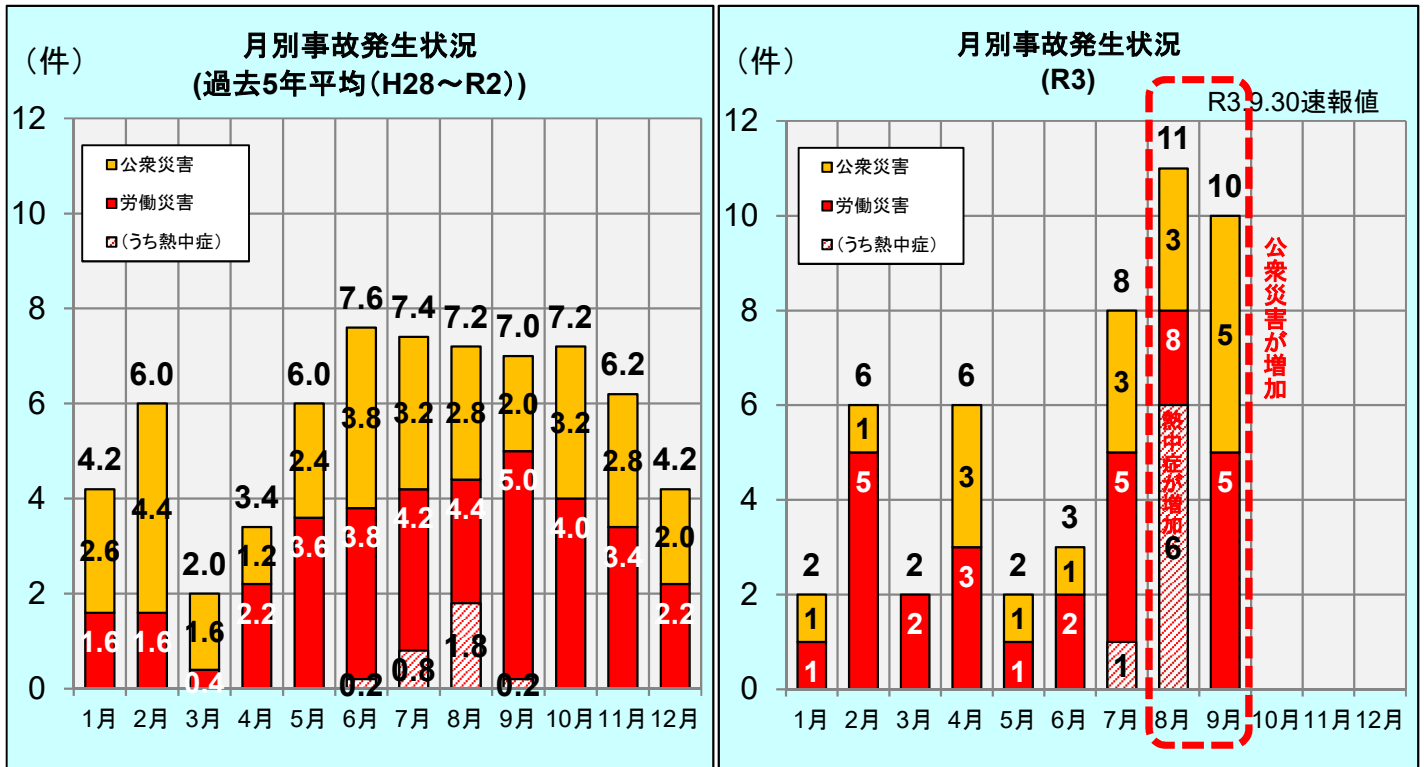
2) 四半期別の事故発生件数

四半期毎の過去5年平均と比較すると、1月～6月までは8件程度減少している状況ですが、7月～9月は7件程度増加しています。



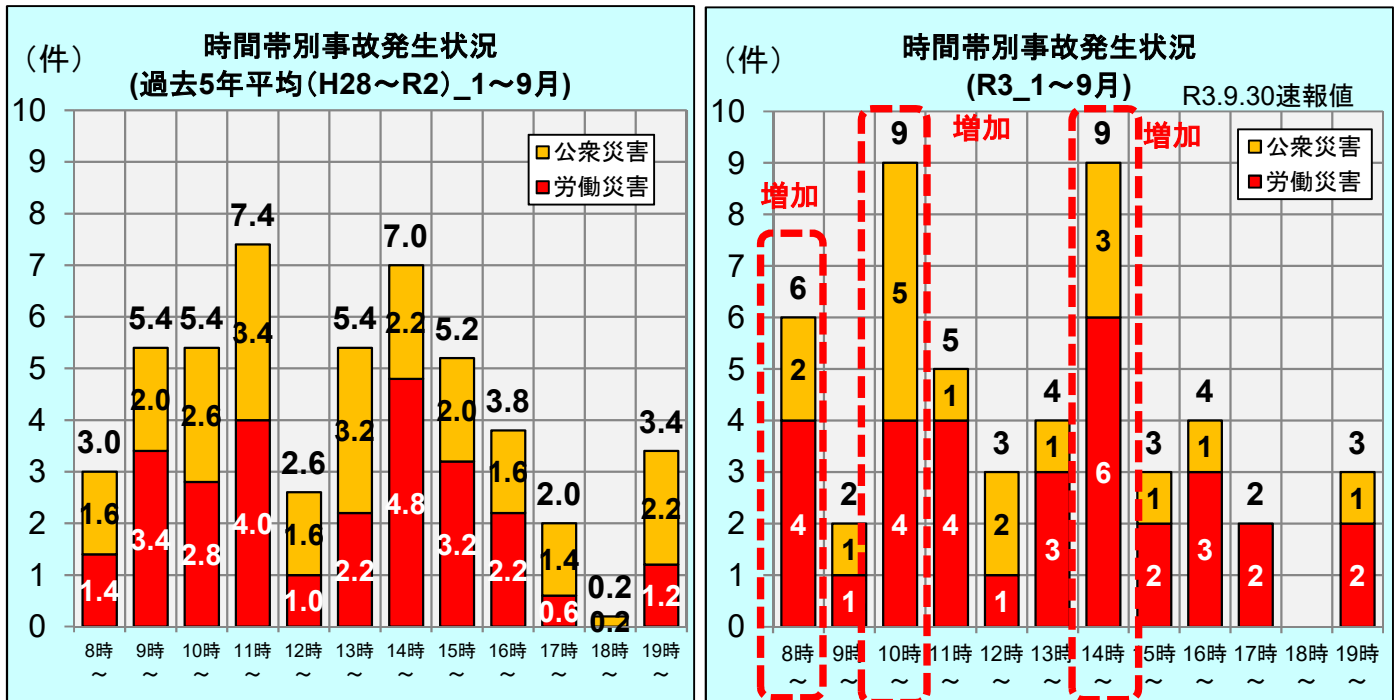
3) 月別の事故発生件数

月別の過去5年平均と比較すると、4月、8月、9月が増加していますは大幅に増加しております。8月は熱中症が6件発生しており、過去5年平均に比べ大きく増加しています。9月は公衆災害が増加しています。



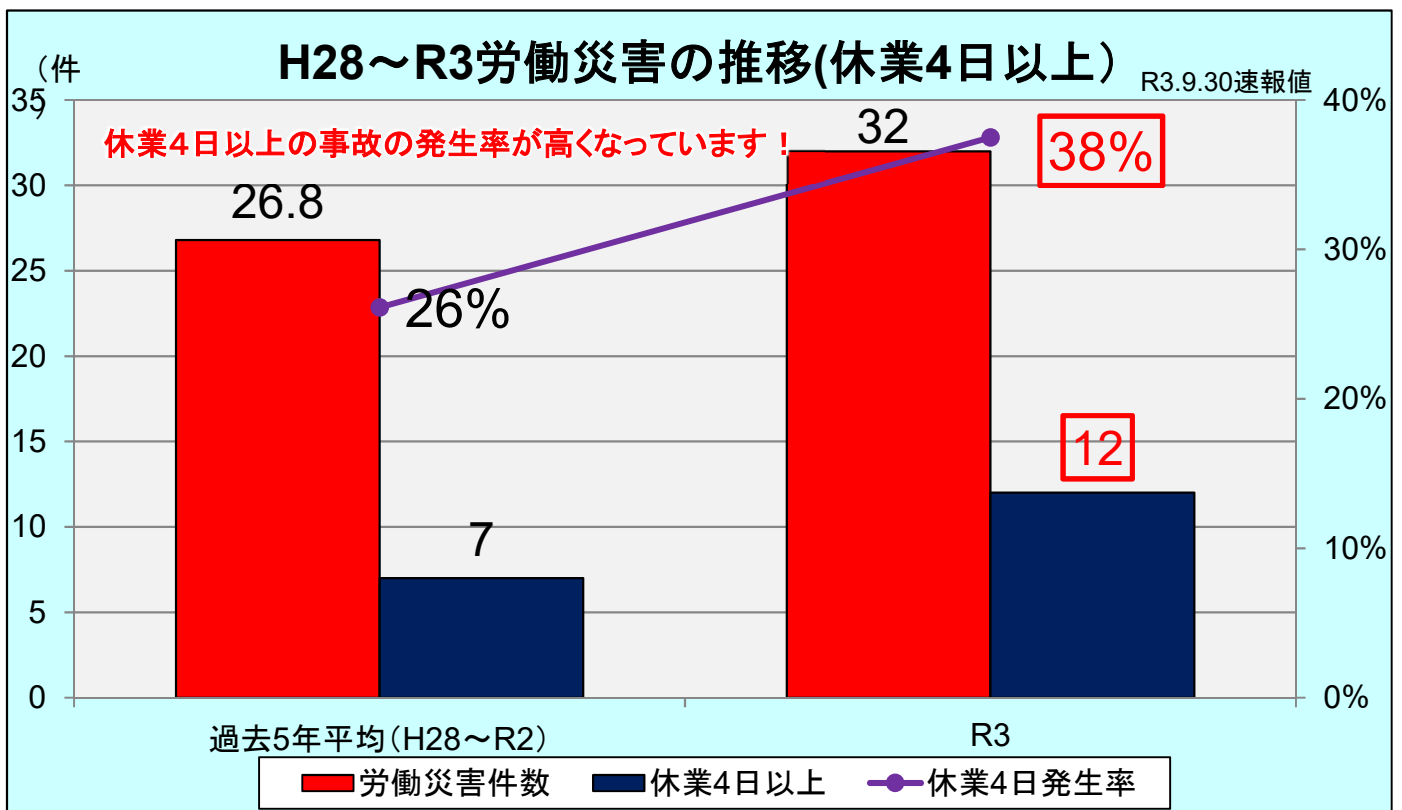
4) 時間帯別の事故発生状況

時間帯別では8時、10時、14時の時間帯の増加しています。作業の開始直後や休憩前後の時間帯は事故発生リスクが高いため特に注意が必要です。



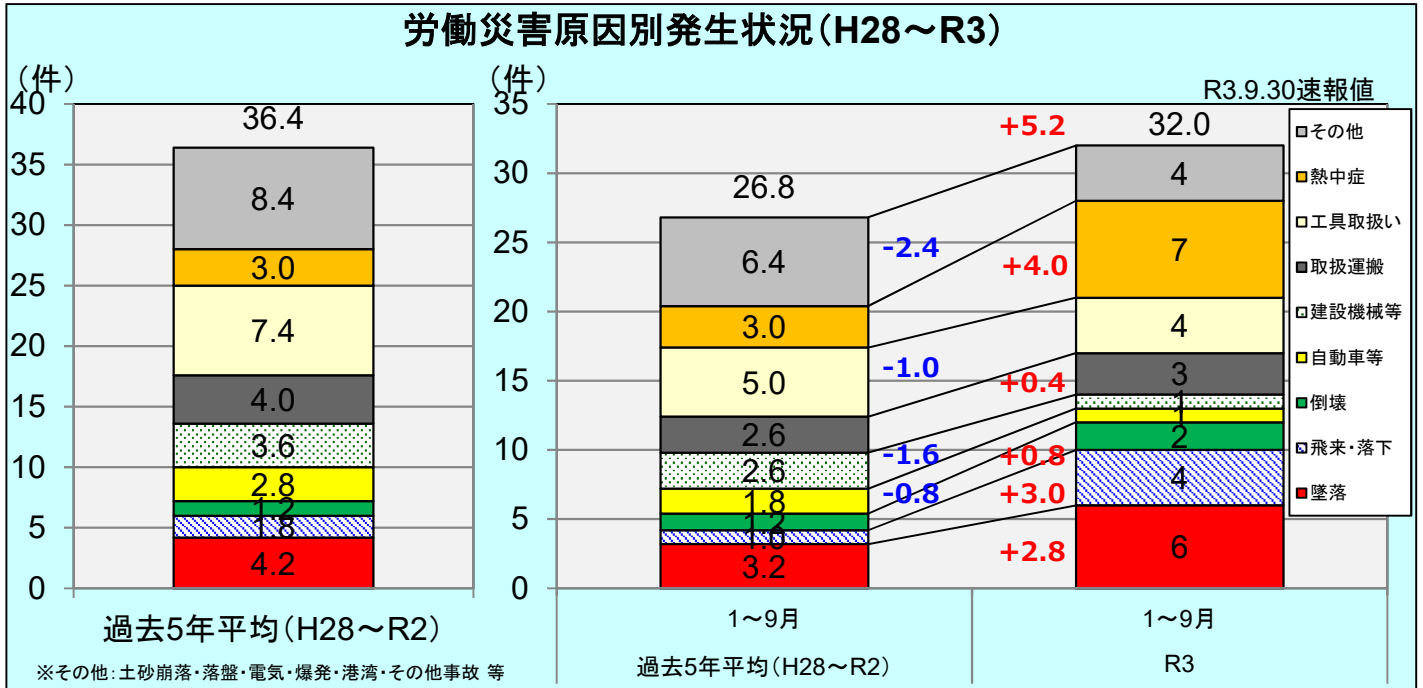
5) 休業4日以上 of 労働災害発生状況

1月から9月の労働災害は32件発生しており、うち12件が休業4日以上 of 事故となっています。休業4日以上 of 事故発生率は38%となっており非常に高くなっています。



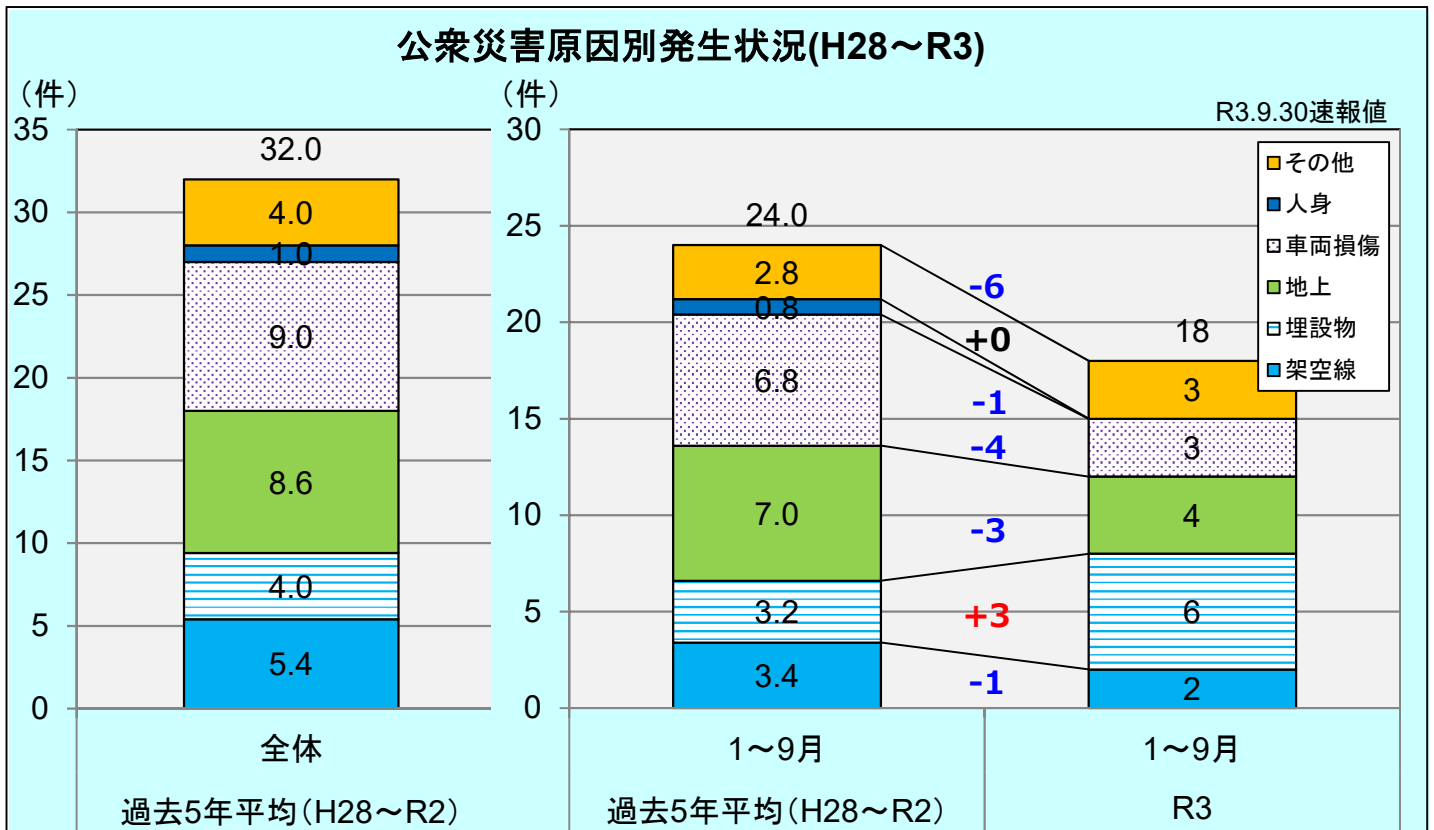
6) 労働災害原因別の発生状況

1月から9月まで労働災害は32件発生しており、労働災害の原因は、過去5年平均に比べ、墜落、飛来・落下、熱中症が増加しています。



7) 公衆災害の原因別の発生状況

1月から9月までの公衆災害は18件で過去5年平均と比較すると6件減少しています。公衆災害の原因は、過去5年平均に比べ、埋設物が3件程度増加しています。



2. 事故発生事例

堤防法面の除草中に刈刃が外れ足小指に当たり負傷(人身事故)

- ①日 時:令和3年7月6日(火) 14:10頃
- ②工事内容:河川維持工事
- ③事故内容:法面の除草作業中、刈刃が外れて右足小指を負傷。
- ④被害状況:右足部裂創、右基節骨及び中節骨開放骨骨折(休業2か月以上)



・二枚刃での
ボルト部保
護なし
・ボルト頭部
の折損により
刃が外れ事
故となった。

【事故原因】

- ・刈り払い機の押さえのボルトが石に接触し、ボルトの先が破損し刈刃が外れた。
- ・二枚刃の利用と、刈刃固定ボルトがむき出しになっているなど、作業工具、作業機械等の適切な使用状況等が一部不適切であった。

除草作業の安全対策の徹底をお願いします。

「除草作用等における安全対策の徹底について」以下のとおり事務連絡を发出了しました。

事務連絡
令和3年9月17日

本局 関係課長 殿
各事務所長 殿

企画部 技術調整管理官
河川部 河川情報管理官
道路部 道路情報管理官

除草作業等における安全対策の徹底について

このたび、除草作業中に草刈り機から刈刃が外れ、作業員が負傷する事故が発生しました。幸い、命に別状はありませんでしたが、状況等によっては第三者被害なども生ずる恐れがありました。

各現場においては、必要な安全対策が取られているかの確認などを含め、工事事故の発生防止に向け注意喚起をお願いします。

(担当:技術管理課 検査係)

舗装にカッター入れたところ埋設管を切断

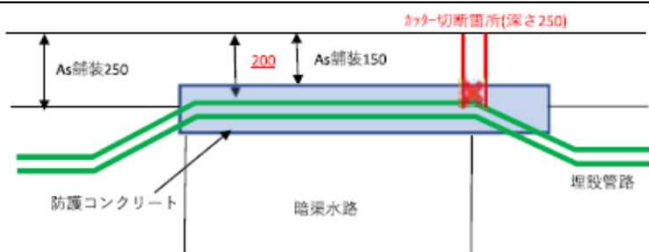
- ①日 時: 令和3年7月26日(月) 23:30頃
- ②工事内容: 舗装工事
- ③事故内容: 既設L型側溝をU字側溝に置換えるため舗装版にカッターを入れたところ、埋設管を切断。
- ④被害状況: 国交省埋設管路3本、国交省光ケーブル1条・国交省監視カメラ配線1条、占有者配線4本切断



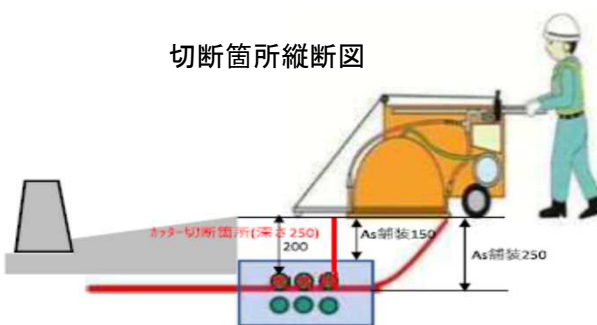
切断箇所



切断した埋設管



切断箇所縦断面図



切断箇所横断面図

【事故原因】

- ・事前の埋設位置の現地調査が不十分なまま作業手順書を作成した。
- ・占有者への立会依頼など、第三者の施設に関する安全対策が不十分だった。
- ・管路の埋設深さが不明な中で、舗装を1度で切断するカッター深さを選定する等、施工過程の一部が不適切であった。

3. 冬季特有の労働災害を防止しましょう！

これからの季節、厳しい寒さと激しい降雪により、現場での作業に大きく影響を受けることとなります。特に積雪や凍結による転倒、墜落・転落や路面の凍結によるスリップによる交通事故などの事故のリスクが高まります。これらの冬季における労働災害を防止するために、現場における安全に対する意識や取組を再度確認し、事故防止対策の徹底をお願いします。

令和3年10月25日 新潟地方气象台 発表

北陸地方 3か月予報

予報期間 11月から1月 <予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

11月 平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう

12月 平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

1月 平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。

気温 11月~1月(3か月)			降水量 11月~1月(3か月)		
地域	低い(%)	高い(%)	地域	少ない(%)	多い(%)
北陸地方	40	30	北陸地方	30	40

気温 11月(1か月)			降水量 11月(1か月)		
地域	低い(%)	高い(%)	地域	少ない(%)	多い(%)
北陸地方	30	30	北陸地方	30	30

気温 12月(1か月)			降水量 12月(1か月)		
地域	低い(%)	高い(%)	地域	少ない(%)	多い(%)
北陸地方	40	30	北陸地方	30	40

気温 1月(1か月)			降水量 1月(1か月)		
地域	低い(%)	高い(%)	地域	少ない(%)	多い(%)
北陸地方	40	30	北陸地方	30	40

4. 令和3年度 北陸地方整備局 安全管理優良受注者の決定

北陸地方整備局では、平成元年より毎年9月第4週を「労働災害防止週間」と定め、建設工事における労働災害の防止に向けて、北陸地方整備局所管の工事等に関し、その安全管理及び労働災害防止対策が特に優秀であって他の模範となる受注者を「安全管理優良受注者」として表彰しています。今回は、令和2年度に完成した北陸地方整備局発注工事の348者の受注者の中から18者を安全管理優良受注者として選定しました。

令和3年9月13日(月)に北陸地方整備局において表彰式を実施しました。表彰式は新型コロナウイルス感染症対策としてWebにて行いました。

令和3年度 安全管理優良事例集をHPに掲載

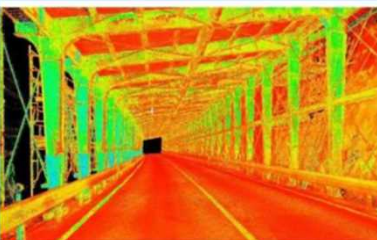
安全管理優良受賞の18者の取り組み事例を北陸地方整備局ホームページに掲載しましたのでお知らせします。今年の取り組みはマッスルスーツの使用や3次元モデルの活用など先進的な技術を活用した取り組みが掲載されています。安全教育、安全管理等の参考として下さい。



ブロック積み的人力作業においてはマッスルスーツを着用



3次元モデルにより作業手順周知会を実施



精度の向上・調査期間短縮を目的にTLS(地上型レーザーキャナー)を活用

安全管理優良受注者表彰 北陸 事例集

検索

<https://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/ankenkanri.html>



【問合せ先】北陸地方整備局企画部 技術検査官 山崎 TEL 025-370-6702 FAX 025-280-8861